

子どもたちに  
平和な未来を  
大軍拡・大増税ストップ!



吉田

党加古川市県政対策委員長

くみこ

プロフィール…1954年神戸市長田区生まれ/兵庫県立加古川東高等学校、大阪社会事業短期大学卒。加古川市立加古川養護学校、市立各小学校・教諭。2015年3月定年退職。加印教職員組合執行委員など歴任。現在、加印母親連絡会会長、党加古川市県政対策委員長、東播地区准地区委員。趣味：読書、映画鑑賞、本の読み聞かせ、手芸。家族：夫、長男との3人暮らし

## 党との出会い

私は、多様な人々が住んでいる町、神戸市長田で生まれ育ちました。



貧富の差が目に見え、子どもの時からなぜこんなに生活の差があるのだろうと感じて育ちました。高校生になると福祉の仕事に就きたいと思うようになり、福祉を学ぶ大学に進学。卒業後、養護学校で介助員として働き始めると、補助でなく子どもたちと主体的にかかわりたいと思うようになり、通信教育で教員免許を習得し、教職に就きました。そこには、子どもを大切に、働きやすい職場にしようと誠実に活動している党員の存在がありました。その人たちとの出会いで仲間の一員になる決意をしました。それから39年間教員として、すべての子どもたちの学ぶ権利と成長を願って働き続けました。



## 大軍拡・大増税ストップ!

いま、岸田内閣は相手国の奥深くまで攻め込む「敵基地攻撃能力」の保有や、5年間で43兆円もの大軍拡、そのための大増税をすすめるようとしています。戦後の国のあり方を根底からくつがえすものです。日本共産党は、結党以来101年、「反戦平和」をつらぬく党として、「暮らしの破壊」、「憲法の破壊」、「平和の破壊」この三つの危険な動きときっぱり対決します。

こうした「戦争国家づくり」でなく、憲法9条を生かした平和外交こそ必要です。日本共産党はそのために全力をつくします。



いまこそ平和

# いのちと暮らしの 願いを県政に届けます

## ごあいさつ

私は加古川で39年間教員として勤めてきました。

そして、組合員として「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンのもと活動をしてきました。

今、ロシアによるウクライナへの侵略を機に軍拡が叫ばれています。武器を持たなければ平和は守れないという状況にとっても危険な時代になっていると感じています。

武器で平和はつくれません。回り道のようにも相手を尊重し、対話を続ける努力をしなければ平和を築くことはできないと思っています。

戦争は決して起こしてはならない。戦争は政治の敗北です。平和な社会を子ども達に残したい。そんな思いで立候補しました。平和な社会を、争いのない社会をと願うすべての人と手をつないでいきましょう。

党加古川市県政対策委員長

**吉田くみこ**

## 日本共産党兵庫県議員団 国、県に ねがい届けて



日本共産党県議員団は、昨年10月27日、学校給食、子ども医療費無料化、少人数学級、大学入学金廃止など政府へ要請。文科省は「少人数学級を中学、高校でも進めていきたいと考えている」と回答しました。

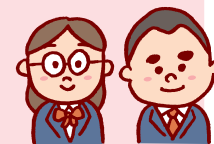


11月8日斎藤県知事にコロナ・物価高騰対策、子ども医療費無料化など来年度予算要望を行いました。



## みなさんと力を合わせ実現しました

- 中学で選択制35人学級
- 高齢者補聴器購入費補助モデル事業
- 国民健康保険の未就学児の均等割減免
- 県立高校のトイレに生理用品設置
- DV被害者の県営住宅入居要件緩和
- 県警を動かし、受験生を狙った痴漢対策が大きく前進。全国で大きな反響



## 吉田くみこのお約束

### ① 子どもを大切に

学校給食を無償に  
少人数学級を実現  
高等学校の授業料無償化



### ② 命を大切に

コロナ感染対策を拡充  
病床削減ストップ、地域医療の充実  
国民健康保険料引き下げ

### ③ 暮らしを大切に

消費税を5%へ減税、インボイス制度中止  
農漁業、中小業者を応援  
公共交通の充実

### ④ 生活環境を大切に

神戸製鋼のばいじん対策  
道路・水路などの公共施設整備  
防災対策の強化